

2019年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年4月2日

上場会社名 キャリアバンク株式会社
 コード番号 4834 URL <http://www.career-bank.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 良雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理財務部長兼経営管理部長 (氏名) 橋本 正太

上場取引所 札

TEL 011-251-3373

四半期報告書提出予定日 2019年4月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第3四半期の連結業績(2018年6月1日～2019年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第3四半期	4,369	2.3	27		33		13	
2018年5月期第3四半期	4,470	0.6	95		91		69	

(注) 包括利益 2019年5月期第3四半期 13百万円 (%) 2018年5月期第3四半期 45百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第3四半期	13.85	
2018年5月期第3四半期	70.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年5月期第3四半期	2,539	1,067	29.8	761.75
2018年5月期	2,338	1,072	32.9	773.80

(参考) 自己資本 2019年5月期第3四半期 756百万円 2018年5月期 768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期				13.00	13.00
2019年5月期					
2019年5月期(予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年5月期の連結業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,083	2.5	110		107		43		43.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年5月期3Q	993,000 株	2018年5月期	993,000 株
期末自己株式数	2019年5月期3Q	株	2018年5月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年5月期3Q	993,000 株	2018年5月期3Q	993,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは企業と人材を繋ぐ役割と機能を果たすため、質の高い人材サービスの提供を通じて双方が求めるニーズに応えてまいりました。当第3四半期連結累計期間は、北海道の市場を基盤としながら東北地方においても雇用環境の改善を念頭に企業業績の拡大と地域の活性化に向けた業務を推進し、収益の拡大を目指してまいりました。

人材派遣関連事業においては、短期単発案件が減少したため売上高は減少しましたが、派遣単価の改善に努めた結果、セグメント利益は増加しました。人材派遣関連事業(関東)においては、入札案件の見送りにより売上高は前年を下回りましたが、売上総利益率の改善に努めた結果セグメント損失を縮小できました。人材紹介事業においては、紹介事業及び海外からのインターンシップ受入サポート事業等が伸びたことにより売上高及びセグメント利益が前年同期を上回りました。再就職支援事業においては、有効求人倍率の高まりから雇用政策関連事業が停滞する中、実績を活かした他地域への進出が奏功し、前年並みの売上高を獲得しました。ペイロール事業においては、年末調整処理人数が大幅に増加したこと等により、売上高は前年同期を上回りました。また、作業の標準化や子会社への業務委託等により効率化を進めた結果、セグメント利益に転じました。その他事業は、前期から開始した日本語学校運営事業が軌道に乗り始めたことが貢献し、売上高及びセグメント利益が前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高4,369,250千円(前年同期比2.3%減)、営業利益27,647千円(前年同期は営業損失95,524千円)、経常利益33,408千円(前年同期は経常損失91,438千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益13,751千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失69,646千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ200,923千円増加し、2,539,375千円となりました。これは主に売掛金の増加683,741千円とそれに伴う現金及び預金の減少460,569千円との差額等によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ206,710千円増加し、1,472,196千円となりました。これは主に長期借入金の増加200,000千円によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5,786千円減少し、1,067,178千円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の減少10,401千円及び非支配株主持分の増加6,436千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年7月10日に発表いたしました2019年5月期(2018年6月1日から2019年5月31日)の業績予想に関しまして、変更はありません。

また、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,165,652	705,083
売掛金	589,480	1,273,221
その他	51,747	41,939
貸倒引当金	△2,573	△4,123
流動資産合計	1,804,308	2,016,121
固定資産		
有形固定資産	142,655	141,846
無形固定資産		
のれん	54,485	49,677
その他	84,785	97,440
無形固定資産合計	139,270	147,118
投資その他の資産	252,217	234,289
固定資産合計	534,143	523,253
資産合計	2,338,451	2,539,375
負債の部		
流動負債		
買掛金	44,535	100,139
短期借入金	500,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	—
未払費用	287,491	279,078
未払法人税等	18,488	24,369
未払消費税等	74,460	52,609
その他	72,564	99,566
流動負債合計	1,097,540	1,105,763
固定負債		
長期借入金	150,000	350,000
その他	17,945	16,433
固定負債合計	167,945	366,433
負債合計	1,265,486	1,472,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	256,240	256,240
資本剰余金	63,785	63,677
利益剰余金	378,125	378,967
株主資本合計	698,151	698,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,350	59,948
為替換算調整勘定	△114	△2,412
その他の包括利益累計額合計	70,235	57,536
新株予約権	2,345	2,087
非支配株主持分	302,232	308,668
純資産合計	1,072,965	1,067,178
負債純資産合計	2,338,451	2,539,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
売上高	4,470,301	4,369,250
売上原価	3,671,022	3,458,230
売上総利益	799,278	911,019
販売費及び一般管理費	894,803	883,371
営業利益又は営業損失(△)	△95,524	27,647
営業外収益		
受取賃貸料	6,417	6,644
助成金収入	2,760	3,212
その他	6,206	6,149
営業外収益合計	15,384	16,006
営業外費用		
支払利息	3,017	2,820
貸貸費用	6,417	6,222
その他	1,862	1,202
営業外費用合計	11,297	10,245
経常利益又は経常損失(△)	△91,438	33,408
特別利益		
投資有価証券売却益	4,999	17,987
特別利益合計	4,999	17,987
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△86,438	51,396
法人税等	△11,375	21,656
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△75,062	29,739
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,416	15,987
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△69,646	13,751

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△75,062	29,739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,235	△12,165
為替換算調整勘定	4,229	△4,493
その他の包括利益合計	29,464	△16,659
四半期包括利益	△45,597	13,079
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△45,050	1,051
非支配株主に係る四半期包括利益	△547	12,027

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。